

令和2年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立花高小学校



=めざす児童像=

考える子

やさしい子

強い子

所在地	佐世保市花高3丁目4番1号
校長	迎 和人
児童数	628名
学級数	26学級



スクールコンサート（4・5年生）



小森川自然体験学習（3年生）

1 目的

- 児童の発達段階に応じた様々な学習活動を通して、命や環境の大切さを学びとともに、学校が一人一人にとって楽しい学びの場となることで、学校教育目標である「強い子」「考える子」の具現化を目指す。
- 活気と潤いのある学校環境を整備するために、学級園等において学年に応じた草花や作物の栽培を推進する。また、地域の方との交流や平和学習等を通して児童の情操を高め、命を大切にする心を育てることにより、学校教育目標である「やさしい子」の具現化を目指す。
- 学習指導において、特別支援教育の考え方をベースとした主観的・客観的児童理解の充実を図るとともに、生命尊重、親切・思いやり、規範意識を重視した学びの深化を図りながら、やさしさあふれる自他の関わりを身に付けることを目指す。さらに、落ち着きある生活が送れるように「あいさつ・返事・廊下歩行・ふわふわ言葉」を啓発することにより、学校教育目標である「考える子」「やさしい子」「強い子」の具現化を目指す。
- 近隣の保育所や幼稚園の園児を招き、接続カリキュラムに則った遊びやふれあい活動、学校探検、学習見学等を通して交流を深め、小学校への円滑な移行を目指す。

2 実践内容

学年	時期	場所	活 動 内 容
1年	6月～ 10月 12月	学年園 中庭	<p>【サツマイモを育てよう】</p> <p>芋さしに始まり、水やりや草取りなど、協力してお世話をすることで、秋には収穫の喜びを味わうことができた。栽培活動を通して、生命の大切さを実感することができた。</p> <p>【チューリップの球根を植えよう】</p> <p>例年は、地域ボランティア「花のわ会」の方々を招いて球根の植え方を教えていただく交流活動を行っていたが、今年度は、コロナ感染防止のため、担任の指導で実施した。卒業式や入学式に向けて学校を美しく飾りたいという思いをもって、一人一人がチューリップの球根とパンジーや金魚草の苗を一つの鉢に寄せ植えした。春の開花を楽しみに、今も世話を続けている。</p>
2年	5月～ 8月 10月 ～ 12月	学年園 学年園	<p>【夏野菜を育てよう】</p> <p>生活科で、ミニトマト・オクラ・ナス・ピーマン・きゅうりなど、夏野菜の苗を植えて育てる学習に取り組んだ。水やりや草取りなどの世話を熱心に行うことで、どの野菜も順調に成長し、収穫の喜びを味わうことができた。また、野菜を実際に育てる中で大変な苦労があることを知り、日頃から口にしている食物の大切さを実感することができた。</p> <p>【冬野菜を育てよう】</p> <p>ダイコンとハツカダイコンの種子を購入し、それぞれ学年園と自分の鉢を使って種蒔きを行った。小さな種から発芽した植物が大きくなっていく様子を観察する活動を通して、生命のたくましさや力強さに気付くことができた。</p>
3年	9月	小森川	<p>【小森川自然体験学習】</p> <p>「清流会（小森川を守る会）」の方々をゲストティーチャーに招き、恒例の現地学習を行った。事前の調べ学習を充分に行った上で、川遊びや水生生物の採集・観察や生物指標を使った水質検査などの体験活動を通して、小森川の様子を詳しく知ることができ、地域の自然の豊かさに気付く良い機会となった。また、長年の間、小森川を見守り続けている清流会の方々の熱い思いを受けとめることで、児童は自然環境を守ることへの意義を感じ、自分たちのふるさとを流れる川をこれからも大切にしていこうという思いをもつことができた。</p>
4年	11月	体育館	<p>【高齢者・障がい者疑似体験】</p> <p>「佐世保市福祉活動プラザ」からゲストティーチャーを招き、福祉体験学習を行った。車椅子や装具、アイマスクなどを使って、体が自由に動かない状態や目や耳が不自由な状態を実際に体験することで、高齢者や障がい者の苦労を実感することができた。併せて、階段の昇降などの場面での介助の仕方も教えていただき、困っている人への接し方を学びながら、実践への意欲を高めることができた。活動後も、調べ学習や発表会を行い、福祉に対する意識の向上を図ることができた。</p>

5年	9月～ 1月	校内	<p>【佐世保のよさを見つめよう】</p> <p>コロナ禍の影響で、従来実施していた地域との交流学习が軒並み中止となったため、総合的な学習の時間の中で「佐世保の伝統や文化」をテーマとした探求学習を仕組むようにした。個々で課題を設定し、インターネット等で集めた資料をまとめて、ポスターセッション形式の発表会を行った。活動を通して、情報活用能力や表現力の向上を図るとともに、佐世保のまちについての理解を深め、郷土を愛する気持ちを高めることができた。</p>
6年	2月～ 3月	校内	<p>【感謝の気持ちを伝えよう】</p> <p>この6年間、毎日の登下校を見守ってくださった「見守り隊」をはじめとする地域ボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えるために、メッセージを添えたプレゼントを制作した。活動を通して卒業への意識が高まり、多くの方々に支えられていることのありがたさに改めて気づくことができた。</p>
4・5年	11月	体育館	<p>【スクールコンサート開催】</p> <p>昨年度に引き続き、情操教育の一環として、外部から招聘した音楽家6名と本校音楽専科教員の出演で「アウトリーチコンサート」を開催した。前回は全学年で実施したが、体育館での3密を避けるため、中止となった市音楽発表会・市音楽鑑賞体験教室にそれぞれ参加予定だった4・5年生の2学年に絞って実施するようにした。音楽の美しさや楽しさを体感する活動を通して、豊かな心の育成を図ることができた。</p>
全校	年間	校内 学校周辺	<p>【挨拶運動推進のための「のぼり旗」の作成・活用】</p> <p>早岐中学校区で地域をあげて取り組んでいる挨拶運動推進の一環として、今年度も「のぼり旗」を作成した。生活委員会児童が新たに考えた挨拶標語をもとに、新デザインののぼり旗も追加し、児童の挨拶への意識を更に高めることができた。</p>
	年間	各教室 各家庭	<p>【「学びの下敷き」の活用】</p> <p>「家庭学習の手引き」を示した下敷きを配付することによって、子どもの学習習慣の定着を図るとともに、発達段階に応じた宿題や自主学習への取り組み方について、保護者にも啓発することができた。また、下敷き裏面の「学習の心構え」や「発表の仕方」も、学習態度や学習意欲の向上に繋がっている。</p>
	12月 ～3月	各教室	<p>【標準学力検査の実施（算数）】</p> <p>確かな学力の定着を図るため、また、多面的な児童理解の手立ての一つとして、全学年で学力調査を行った。全国学力・学習状況調査や県・市学力調査等の結果から分析した課題をもとに取り組んできた授業改善の成果を確かめるとともに、個々の課題に応じた復習や習熟に活用しているところである。</p>
	2月	体育館 各教室	<p>【WEBカメラの活用】</p> <p>コロナ禍における学校行事・集会の在り方を工夫する手立てとして、新たにWEBカメラを購入した。2月末の「お別れ集会」では、体育館と各教室をオンラインで結ぶことによって全校児童が一堂に会する事態を避け、ライブ中継機能を活かした集会を実施することができた。今後も、様々な場面での効果的な活用を考えていきたい。</p>

